



ちばりは ニュース

2011年5月発行 第6号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区誉田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

センター長あいさつ — 東日本大震災、そして新たな5年間のスタート —



センター長 よしながかつのり
吉永勝訓

3月11日の東日本大震災で犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災や福島第一原発事故の影響で避難生活を続けられている方々にお見舞い申し上げます。

地震当日は千葉リハビリテーションセンターも大変激しく揺れましたが、幸い利用者や職員はみな無事でした。建物等の被害はガス漏れがありまた貯水槽の一部が破損したものの、当日深夜にはガスも回復して患者非常食対応を2回ただけで済み、地震から1週間程度で通常の業務体制に戻ることができました。

今回の震災を通して、今まで私たちが当たり前とって過ごしていた日常の生活がいかに有難いものであるかを、日本人の誰もが感じていると思います。今後も被災地復興と被災者の生活確保、放射能の問題、夏の電力不足、財政への影響など難問は山積ですが、気持ちだけは明るく前向きに物事を考えて参りましょう。なお当センターからも千葉県の被災地医療支援の一環として医療班を2度、岩手県陸前市に派遣させていただきました。(P4参照)

さて、大震災後の慌ただしさの中で迎えた平成23年度は、千葉リハビリテーションセンターにとって新しい5年間のスタートの年です。

平成18年度から導入された5年毎の指定管理制度の2期目が始まりました。指定管理制度では、千葉リハビリテーションセンターを運営する千葉県身体障害者福祉事業団が以前より民間に近い立場に置かれ、利用者へのサービス提供や経営に対する自由度と責任が大きくなりました。今までの5年間では、利用者をはじめ周囲の方々のご支援と職員の努力により、病院機能評価の認定を取得するなど、サービス内容の改善や利用率向上による経営改善について、一応の改善成果が得られたと思っております。また、当センターの持つ役割や将来に向けた問題点などが整理された「千葉リハ改革プラン」が近日中に県から発表される予定です。

これからの5年間は、当センター及び事業団組織の体質改善やサービス提供基盤の整備など、今までよりは外からは見えにくいけれども、将来の千葉リハのためには大変重要な「内なる充実を目指す5年間」であると私は捉えております。そこで今回の指定管理期間に実行する重要項目として、次の6つを掲げ職員の理解を得ながら具体的な作業に入ったところです。利用者および関係者の皆様には、千葉リハビリテーションセンターの運営に対して引き続きご支援と忌憚のないご意見・ご指導を頂戴したく、よろしくお願い申し上げます。

- ① 情報の一元化と分析・フィードバックに関するシステム構築
- ② 次の時代に向けた人材育成
- ③ 建物の老朽化・狭隘化への対応
- ④ 新しい時代をリードできる小児療育部門の再構築
- ⑤ 専門的リハビリテーションの世界水準も見据えたレベルアップ
- ⑥ 地域支援のさらなる充実

新設備の紹介

改修工事の際にはご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、入院外来設備等の改修、備品を導入できました。今後も、ご利用される方およびそのご家族の皆様の満足につながるサービスの向上を目指してまいります。

新設・改修しました



駐車場の造成（正面玄関東側）
駐車スペースを広げ、駐車台数も増やしました



患者様が万が一転倒した場合などの安全性を高めるため、一部の病室の壁と床にクッション材を貼りました（3B棟）

《その他の主な改修工事》

- 言語聴覚療法訓練室の確保（中央棟）
→2室に分室化し、診療環境を整えました
- エレベーター改修（中央棟）
- 防災設備等改修（全館）
- 外来待合スペース新設(正面玄関脇)



洗面所などの改修(2B・2C棟)



車椅子でも使いやすくなりました

福祉機器展示場がリニューアルオープン！



パソコンを経由して、声でテレビ・照明の電源などを操作します



入院・入所されている方の訓練や、退院・退所前に病室でご試用いただき、退院後の生活を支えるための福祉用具を数多く展示しています。

- ※直接販売は行っておりません
- ※ご利用の際には職員の出会いが必要となります

（展示品の一例）

- 車イス
- 介護用ベッド
- 環境制御装置
- 移動補助用具
- 移動用リフト（スリングシー



操作リモコンにより、実際に操作ができます

車椅子のまま乗れる昇降機もあります

さまざまなタイプの車椅子があります



※すべて医師の指示のもとで使用

医療用機器を導入しました



専用のカメラが6台設置されています

床反力計により、歩行時の体重のかかり具合などが測定できます

《3次元動作解析装置》

患者様の姿勢動作（術前・術後の歩き方の比較、日常動作など）を赤外線高性能カメラとコンピュータで解析・評価を行います。義足や関節疾患、脳卒中などでリハビリテーションを行う際に有用なデータが得られ、より訓練効果の向上が期待されます。



《ロボットスーツ（HAL）》

体を動かそうとする時の神経信号を検知して、その動作をアシストする自立動作支援ロボットを導入しました。



《吊り下げ式トレッドミル》

患者様個々の状態に合わせて速さや角度により負荷を調整して歩行訓練を行います。また、吊り下げ式のため、立つ（歩く）バランスが悪い方でも安心して訓練ができます。



《自動車運転シミュレーター》

高次脳機能障害や脊髄損傷の患者様などが、自動車の運転を再開するための訓練・評価を行うシミュレーターです。危険な場면을「安全に」「実践的に」体験できます。また、走行記録や結果を確認することが可能です。

ホームページリニューアル

携帯用ホームページもできました！
<http://www.chiba-reha.jp/m/>



◆ 情報が探しやすい ◆
「受診・相談を希望される方」、「症状別の情報を知りたい方」、「採用・入札情報を調べたい方」利用しやすく、簡単に！

◆ スタッフの声もたくさん ◆
公開講座や地域リハビリ情報、現役看護師インタビューを含む働くスタッフの声など。

ホームページ
<http://www.chiba-reha.jp/>

被災地（陸前高田市）へ医療救護班を派遣

— 東日本大震災への対応 —



医師による
現場での診察風景

スタッフ間の引継ぎ



千葉リハビリテーションセンターでは、この度の地震で被災された方々の医療支援のため、千葉県災害派遣医療チームの一員として、4月21～25日の間、岩手県陸前高田市へ医師、薬剤師、看護師、理学療法士等による医療救護班を編成・派遣いたしました。

また、5月23～27日の間、2度目の派遣を行っています。

センター案内図



無料送迎バスのご案内（センター⇄JR鎌取駅 循環運行）

JR鎌取駅北口発
千葉リハビリテーションセンター行き

| 時 | 平日 | 土曜日 |
|----|----------|-------|
| 8 | 10 30 50 | 30 50 |
| 9 | 10 30 50 | 10 30 |
| 10 | 10 30 50 | 20 40 |
| 11 | 10 30 50 | 00 20 |
| 12 | 10 30 50 | |
| 13 | 10 30 50 | |
| 14 | 10 30 50 | |
| 15 | 10 30 50 | |
| 16 | 10 30 50 | |
| 17 | 10 40 | |

千葉リハビリテーションセンター発
JR鎌取駅北口行き

| 時 | 平日 | 土曜日 |
|----|----------|----------|
| 8 | 03 23 43 | 23 43 |
| 9 | 03 23 43 | 03 23 |
| 10 | 03 23 43 | 13 33 53 |
| 11 | 03 23 43 | 13 |
| 12 | 03 23 43 | |
| 13 | 03 23 43 | |
| 14 | 03 23 43 | |
| 15 | 03 23 43 | |
| 16 | 03 23 43 | |
| 17 | 03 33 | |

イベントのご案内

公開講座の開催について

日時：平成23年7月9日(土) 10:30～
場所：千葉リハビリテーションセンター

第14回
設立三十周年記念
千葉県千葉リハビリテーションセンター公開講座

日時 平成23年7月9日(土)
開場 10:00

場所:千葉県千葉リハビリテーションセンター

午前の部
10:30～12:30

『千葉リハビリテーションセンターの現在と未来』

◆千葉リハビリテーションセンターの取り組みをいくつかご紹介します◆
骨髄損傷、高次脳機能障害、小児、関節外科、地域支援etc・・・

午後の部
シンポジウム 13:30～16:00

『誰もが街で暮らすために』

横浜市総合リハビリテーションセンター顧問 **伊藤 利之** 氏
日本リハビリテーション連携科学学会理事長 **奥野 英子** 氏
千葉県健康福祉部医療整備課長 **山崎 晋一朗** 氏

主催:千葉県千葉リハビリテーションセンター 共催:千葉県リハビリテーション支援センター
◆問い合わせ・申し込み先◆
〒266-0005 千葉県千葉市緑区豊田町1丁目45番2
千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域連携部
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1847

車の利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バス

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分